

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.191

2023年6月期調査



<調査要項>

・調査時点	2023年	6月上旬	
・調査対象期間	2023年	4－6月実績	
	2023年	7－9月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	443社	(有効回答率98.4%)
・業種別企業数	製造業	136社、	卸売業 67社
	小売業	92社、	運輸・サービス業 56社
	建設業	66社、	不動産業 26社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。
各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい



4 - 6 月の概況

●当金庫取引先の景況感は前期から改善

当金庫取引先の 2023年4-6月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の13.5%で前期（2023年1-3月期 12.3%）から+1.2ポイント、「悪い」は20.3%で前期（同 26.9%）から▲6.6ポイント。全業種総合の業況判断 DI は、前期▲15から+8ポイントの▲7となり、前期から改善した。

業種別で見ると、製造業の業況判断 DI は、前期▲9から+6ポイントの▲3、非製造業の業況判断 DI は、前期▲17から+9ポイントの▲8となった。

●来期は概ね横這いの見通し

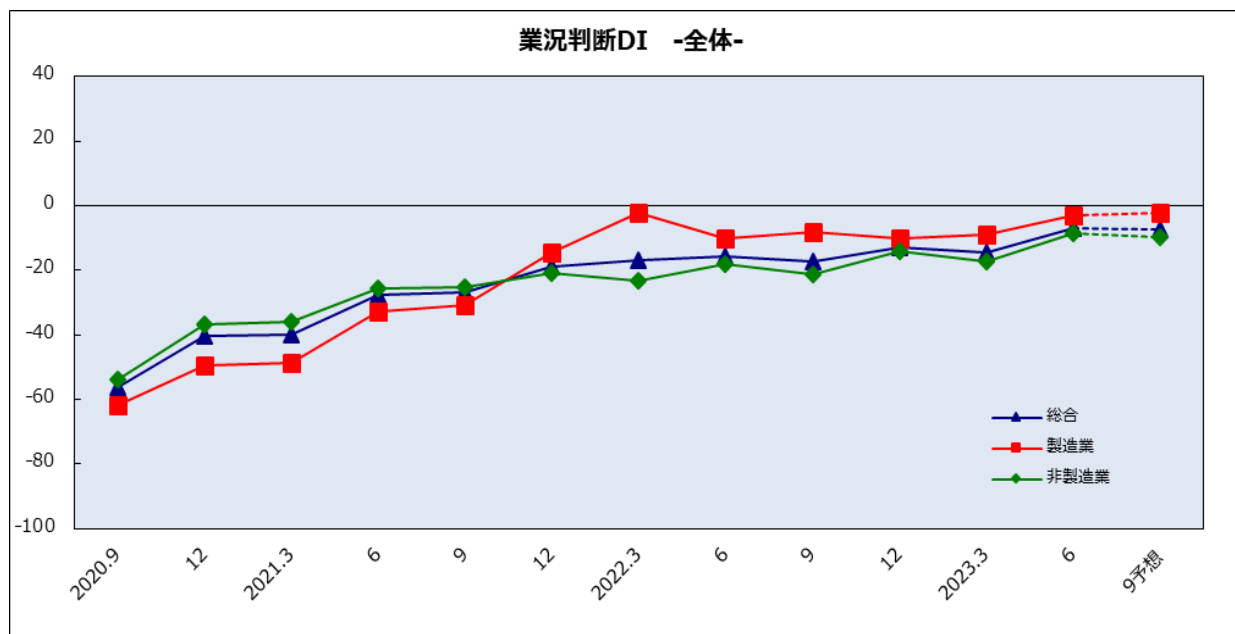
来期（2023年7-9月期）の全業種総合の予想業況判断 DI は、今期から横這いの▲7となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断 DI は今期▲3から+1ポイントの▲2、非製造業は今期▲8から▲2ポイントの▲10となる見通しである。

■最近の業況判断DIの推移

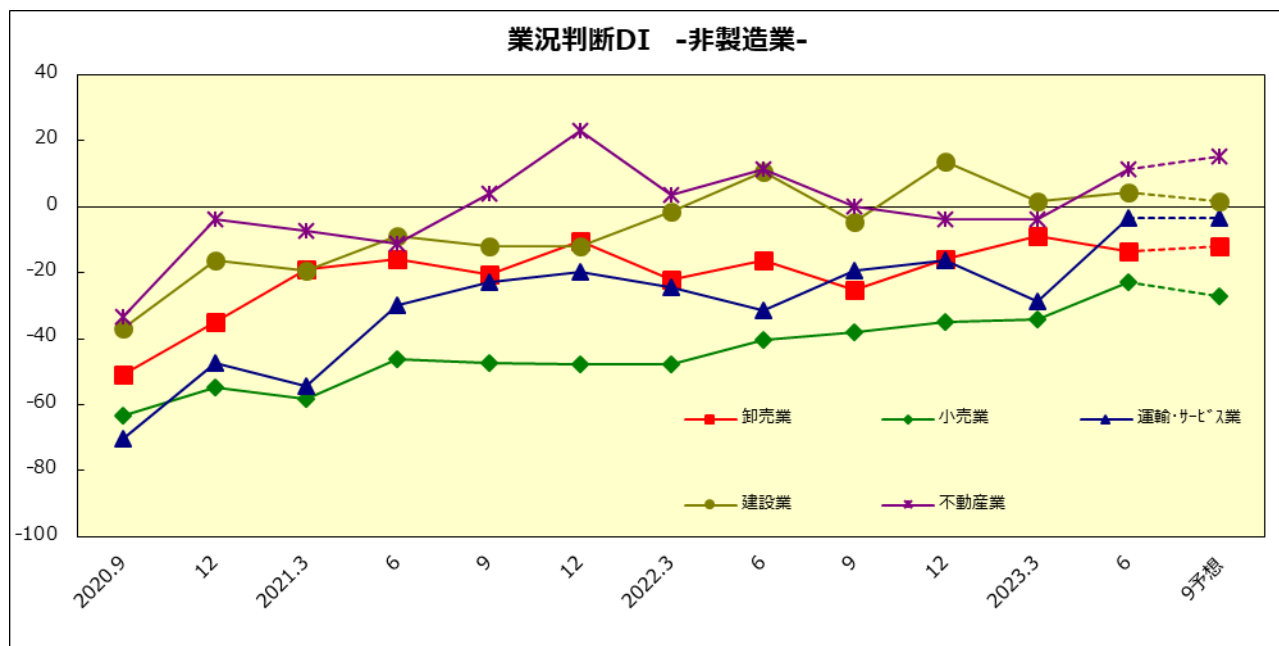
・業況判断 DI（総合）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
総合 (443社)		-16 (↗)	-17 (↘)	-13 (↗)	-15 (↘)	-7 (↗)	-7 (→)
製造業 (136社)		-10 (↘)	-8 (↗)	-10 (↘)	-9 (↗)	-3 (↗)	-2 (↗)
非製造業 (307社)		-18 (↗)	-21 (↘)	-14 (↗)	-17 (↘)	-8 (↗)	-10 (↘)

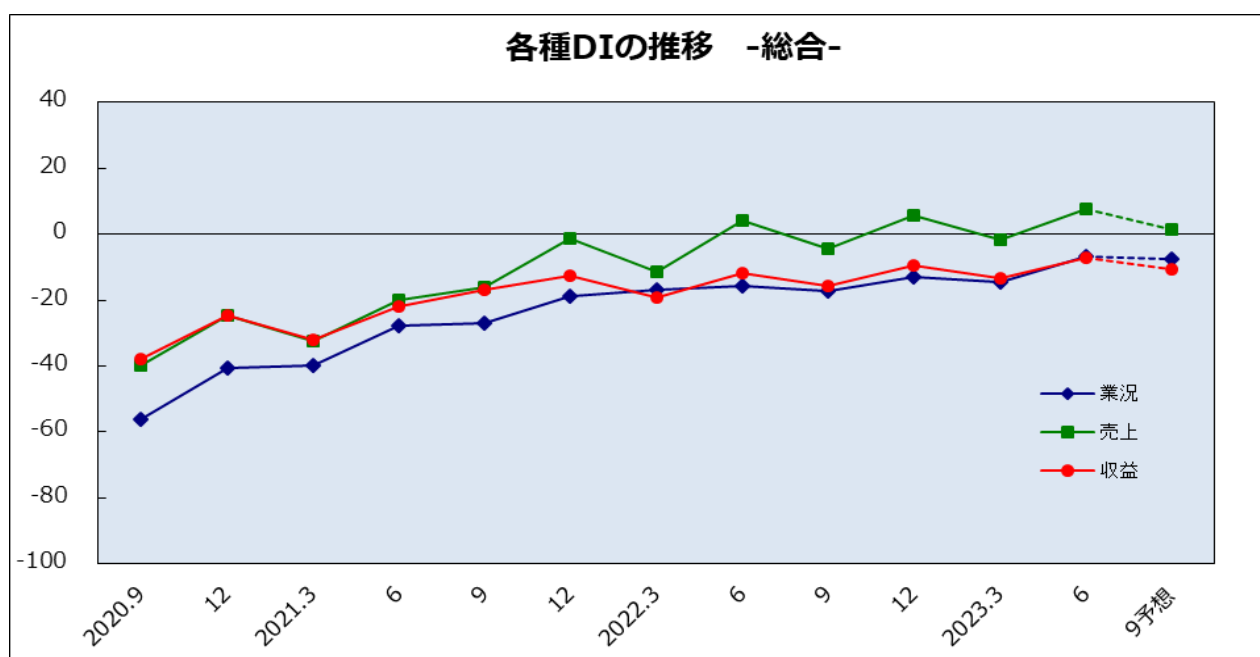


・業況判断 DI（非製造業）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
卸売業（67社）		-16（↗）	-25（↘）	-16（↗）	-9（↗）	-13（↘）	-12（↗）
小売業（92社）		-40（↗）	-38（↗）	-35（↗）	-34（↗）	-23（↗）	-27（↘）
運輸・サービス業（56社）		-32（↘）	-19（↗）	-16（↗）	-29（↘）	-4（↗）	-4（→）
建設業（66社）		10（↗）	-4（↘）	14（↗）	1（↘）	5（↗）	2（↘）
不動産業（26社）		12（↗）	0（↘）	-4（↘）	-4（→）	12（↗）	15（↗）



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から小幅改善

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の16.2%で前期(14.6%)から+1.6ポイント、「悪い」は19.1%で前期(23.4%)から▲4.3ポイント。業況判断DIは前期▲9から+6ポイントの▲3となり、前期から小幅に改善した。

来期は一般機械器具、食料品など8業種で改善、金属製品、皮革製品など5業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲3から+1ポイントの▲2と小幅に改善する見通しである。

●今期は21業種中、11業種で改善、5業種で悪化

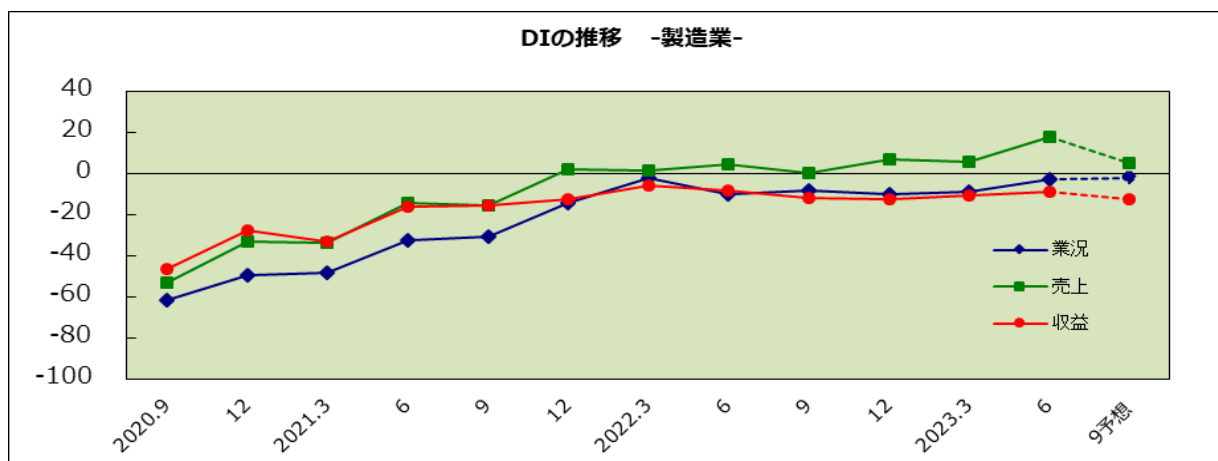
金属製品、食料品など11業種で改善、一般機械器具、電気機械器具など5業種で悪化した。

21業種中…業況改善 11業種 / 業況横這 5業種 / 業況悪化 5業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
金属製品	(19社)	0 (→)	-5 (↓)	-21 (↓)	-17 (↑)	-5 (↑)	-11 (↓)
一般機械器具	(17社)	-6 (↓)	-13 (↓)	0 (↑)	6 (↑)	-6 (↓)	6 (↑)
食料品	(14社)	-29 (↓)	-15 (↑)	-7 (↑)	-21 (↓)	-14 (↑)	-7 (↑)
輸送用機械器具	(11社)	0 (↓)	-17 (↓)	17 (↑)	0 (↓)	27 (↑)	27 (→)
電気機械器具	(8社)	-38 (↓)	0 (↑)	-38 (↓)	-38 (→)	-50 (↓)	-38 (↑)
皮革製品	(8社)	25 (↑)	38 (↑)	13 (↓)	13 (→)	50 (↑)	38 (↓)
プレス・メッキ	(7社)	-14 (↓)	0 (↑)	14 (↑)	14 (→)	-29 (↓)	-14 (↑)
建築用金属製品	(7社)	-14 (↓)	14 (↑)	-29 (↓)	-14 (↑)	0 (↑)	0 (→)
出版・印刷	(6社)	-33 (↑)	-50 (↓)	-50 (→)	-17 (↑)	0 (↑)	0 (→)
窯業・土石	(5社)	40 (→)	0 (↓)	-20 (↓)	-40 (↓)	-20 (↑)	-20 (→)
繊維製品(靴下)	(5社)	-60 (↑)	-40 (↑)	-20 (↑)	-20 (→)	-20 (→)	20 (↑)

調査員のコメント

- ・大手取引先からの仕事量は変わらないが、コロナの影響や原材料価格の高騰により収益が減少している。 (金属製品)
- ・半導体不足の影響が落ち着きつつあり、売上は回復傾向。 (輸送用機械器具)
- ・経費の支払増加(人件費、光熱費等)により収益率が低下している。当社は地元取引先との関係維持のため、価格の引き上げはしない方針。 (食料品)



●3 四半期ぶりの悪化

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 9.0%で前期 (13.0%) から▲4 ポイント、「悪い」は 22.4%で前期 (21.7%) から+0.7 ポイント。業況判断 DI は前期▲9 から▲4 ポイントの▲13 となり、3 四半期ぶりに悪化した。

来期は農畜産物・水産物で改善、機械器具、再生資源で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲13 から+1 ポイントの▲12 と小幅に改善する見通しである。

●今期は 9 業種中、4 業種で改善、2 業種で悪化

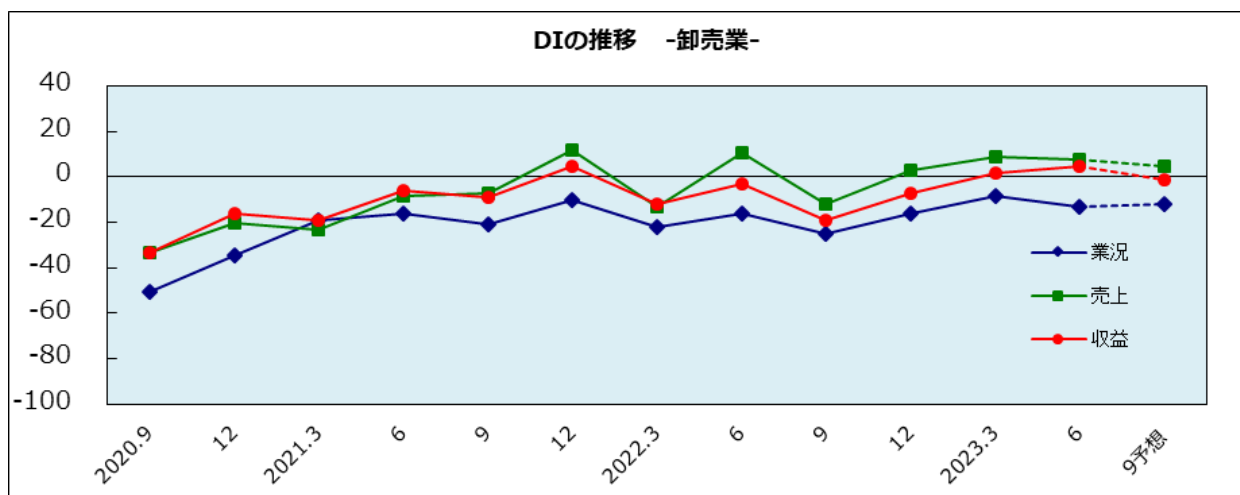
農畜産物・水産物、衣服身回品など 4 業種で改善、機械器具、飲食料品で悪化した。

9 業種中・・・業況改善 4 業種 / 業況横這 3 業種 / 業況悪化 2 業種

業 種	調査時期	4期前	3前期	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
機械器具 (18社)		-21 (→)	-26 (↓)	-21 (↑)	5 (↑)	-11 (↓)	-17 (↓)
建築材料 (10社)		-11 (↓)	-22 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
農畜産物・水産物 (10社)		-20 (↑)	-30 (↓)	-27 (↑)	-55 (↓)	-50 (↑)	-20 (↑)
飲食料品 (9社)		-11 (↑)	-22 (↓)	11 (↑)	11 (→)	-22 (↓)	-22 (→)
金属材料 (6社)		0 (↑)	0 (→)	-33 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)
化学製品 (3社)		-100 (↓)	-67 (↑)	-33 (↑)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)
衣服身回品 (2社)		-33 (→)	-67 (↓)	-33 (↑)	-50 (↓)	-33 (↑)	-33 (→)
家具建具じゅう器 (2社)		0 (↑)	-100 (↓)	-100 (→)	-100 (→)	0 (↑)	0 (→)
再生資源 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	50 (↑)	0 (↓)
その他 (1社)		17 (→)	0 (↓)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・当面は原材料価格の高止まりが予想される。賃上げを実施するために、不採算部門の見直しなどを検討している。 (機械器具)
- ・しらす、イカナゴ等の不漁による商品不足が起こり、業況が悪化している。 (飲食料品)
- ・コロナの影響はほぼなくなり、受注が安定しているため、今後、増収増益が期待できる。 (建築材料)



小 売 業 92社

●5 四半期連続の改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の7.6%で前期(7.7%)から▲0.1ポイント、「悪い」は30.4%で前期(41.8%)から▲11.4ポイント。業況判断DIは前期▲34から+11ポイントの▲23となり、5四半期連続で改善した。

来期は衣服身回品で改善、ガソリン、自動車など4業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲23から▲4ポイントの▲27と悪化する見通しである。

●今期は12業種中、6業種で改善、3業種で悪化

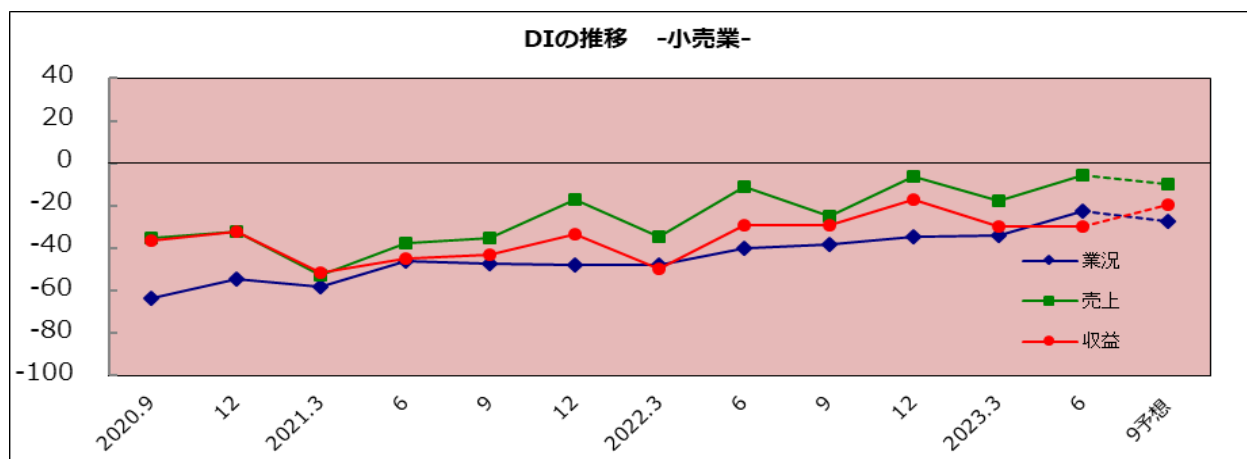
飲食料品、衣服身回品など6業種で改善、ガソリン、スーパー・コンビニなど3業種で悪化した。

12業種中…業況改善 6業種 / 業況横這 3業種 / 業況悪化 3業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
飲食料品	(24社)	-42 (↗)	-42 (→)	-50 (↘)	-46 (↗)	-33 (↗)	-33 (→)
衣服身回品	(15社)	-60 (↗)	-60 (→)	-33 (↗)	-64 (↘)	-47 (↗)	-40 (↗)
飲食店	(10社)	-55 (↗)	-55 (→)	-45 (↗)	-36 (↗)	-10 (↗)	-10 (→)
ガソリン	(10社)	-17 (↗)	50 (↗)	0 (↘)	40 (↗)	-33 (↘)	-50 (↘)
自動車	(8社)	-38 (↘)	-38 (→)	-50 (↘)	-25 (↗)	0 (↗)	-13 (↘)
スーパー・コンビニ	(6社)	-22 (→)	-22 (→)	11 (↗)	11 (→)	10 (↘)	-10 (↘)
書籍・文具	(4社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-33 (↘)
家電機器	(3社)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)	0 (↗)	-50 (↘)	-50 (→)
医薬品・化粧品	(2社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品	(2社)	-100 (↘)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)	-50 (↗)	-50 (→)
時計・眼鏡	(2社)	-50 (↗)	-100 (↘)	-50 (↗)	-67 (↘)	-50 (↗)	-50 (→)
木材建築材料	(1社)	-100 (↘)	-100 (→)	0 (↗)	-100 (↘)	-100 (→)	-100 (→)
その他	(5社)	0 (↗)	-50 (↘)	-75 (↘)	-75 (→)	20 (↗)	20 (→)

調査員のコメント

- ・販売価格は据え置き、商品の内容量を減らしてきたが、原材料価格の高騰が続けば、販売価格の見直しを進めていかなければならない。(飲食料品)
- ・不採算店舗の閉鎖や婦人向けブランドの立ち上げ等により、売上は回復傾向。今後は海外進出により業容拡大を図る。(衣服身回品)
- ・販売価格の引き上げにより価格転嫁ができており、業況安定推移中。人手不足が課題であり、人件費の見通しを検討中。(ガソリン)



●前期から大幅改善

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 12.5%で前期 (7.1%) から+5.4ポイント、「悪い」は 16.1%で前期 (35.7%) から▲19.6ポイント。業況判断 DI は前期▲29 から+25ポイントの▲4となり、前期から大幅に改善した。

来期は運輸業、修理業など3業種で改善、クリーニング・理容・美容で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期から横這いの▲4となる見通しである。

●今期は7業種中、5業種で改善、2業種で横這い

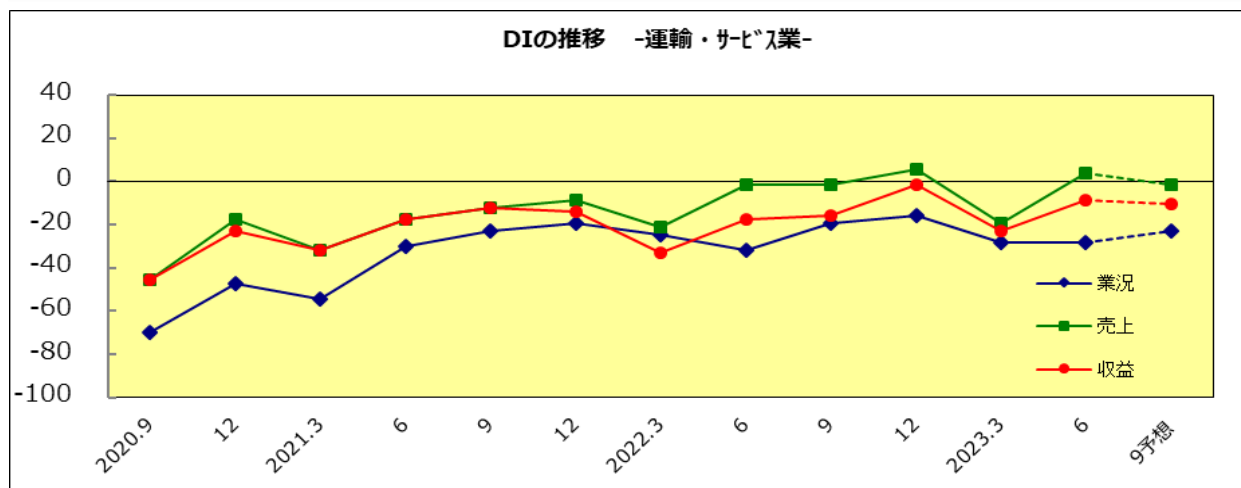
運輸業、自動車整備・駐車場など5業種で改善、修理業、物品賃貸で横這いとなった。

7業種中…業況改善 5業種 / 業況横這 2業種 / 業況悪化 0業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
運輸業 (13社)		-57 (ㇿ)	-14 (ㇿ)	0 (ㇿ)	-15 (ㇿ)	-8 (ㇿ)	0 (ㇿ)
自動車整備・駐車場 (10社)		-33 (ㇿ)	-33 (→)	-22 (ㇿ)	-22 (→)	10 (ㇿ)	10 (→)
クリーニング・理容・美容 (7社)		-29 (ㇿ)	-29 (→)	-29 (→)	-71 (ㇿ)	14 (ㇿ)	-14 (ㇿ)
修理業 (4社)		-67 (→)	-100 (ㇿ)	-100 (→)	-33 (ㇿ)	-33 (→)	0 (ㇿ)
情報サービス・調査・広告 (3社)		-25 (ㇿ)	0 (ㇿ)	-25 (ㇿ)	-100 (ㇿ)	-25 (ㇿ)	-25 (→)
物品賃貸 (2社)		0 (ㇿ)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	50 (ㇿ)
旅館宿泊所 (2社)		-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	0 (ㇿ)	0 (→)
その他 (15社)		-6 (ㇿ)	0 (ㇿ)	0 (→)	-19 (ㇿ)	-7 (ㇿ)	-13 (ㇿ)

調査員のコメント

- ・売上はコロナ以前まで回復したが、価格転嫁はできていない。2024 年問題に対して、社労士とともに労務管理及び職場環境の改善に取り組んでいる。(運輸業)
- ・売上は増加しているが、部品等の価格高騰による影響が大きい。4 月から価格転嫁しているが、利幅は減少している。(自動車整備・駐車場)
- ・社会情勢が目まぐるしく変化しているため、従来とは違った広告を求める取引先が増えている。(情報サービス・調査・広告)



●前期から改善

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の21.2%で前期(17.9%)から+3.3ポイント、「悪い」は16.7%で前期(16.4%)から+0.3ポイント。業況判断DIは前期+1から+4ポイントの+5となり、前期から改善した。

来期は総合工事で横這い、職別工事、設備工事で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期+5から▲3ポイントの+2と小幅に悪化する見通しである。

●今期は3業種中、2業種で改善、1業種で横這い

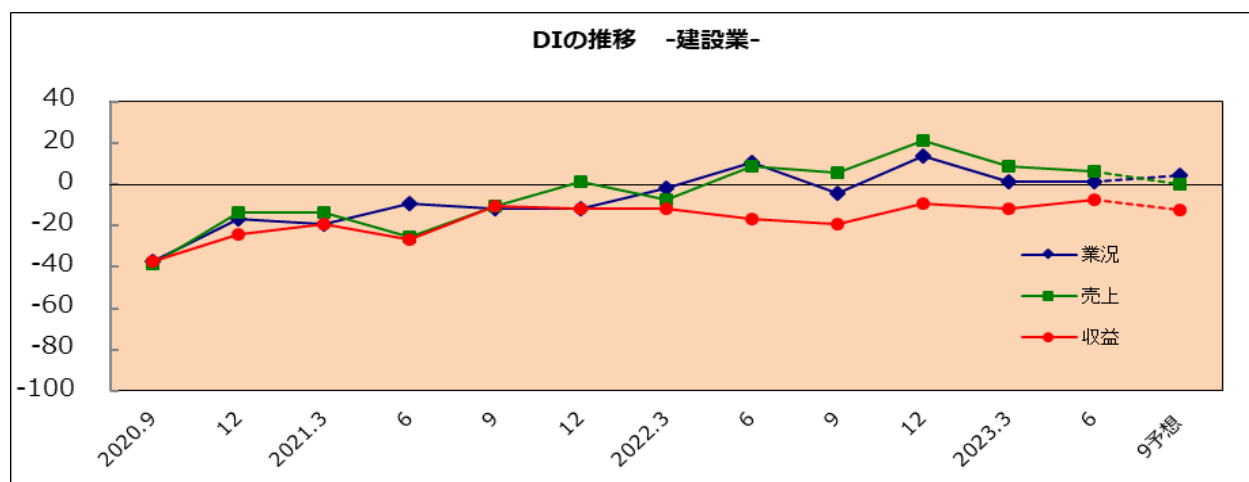
職別工事、設備工事の2業種で改善、総合工事で横這いとなった。

3業種中…業況改善 2業種 / 業況横這 1業種 / 業況悪化 0業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
総合工事	(33社)	3 (↗)	-6 (↘)	3 (↗)	-6 (↘)	-6 (→)	-6 (→)
職別工事	(22社)	29 (↗)	0 (↘)	30 (↗)	14 (↘)	20 (↗)	15 (↘)
設備工事	(12社)	0 (↗)	-7 (↘)	13 (↗)	0 (↘)	8 (↗)	0 (↘)

調査員のコメント

- ・ 資材の価格高騰や受注競争の激化によりコストは大幅に上昇している。 (総合工事)
- ・ 原材料価格の上昇分は価格に転嫁できている。賃上げについて、今期はベースアップを検討している。 (職別工事)
- ・ 個人の新築工事については、見積りから工事完成まで原材料の高騰分を価格に転嫁できず、売上は減少する見込み。 (設備工事)



●前期から大幅改善

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の15.4%で前期(11.5%)から+3.9ポイント、「悪い」は3.8%で前期(15.4%)から▲11.6ポイント。業況判断DIは前期▲4から+16ポイントの+12となり、前期から大幅に改善した。

来期は建売・土地売買で改善、不動産代理・仲介で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期+12から+3ポイントの+15と小幅に改善する見通しである。

●今期は4業種中、3業種で改善、1業種で横這い

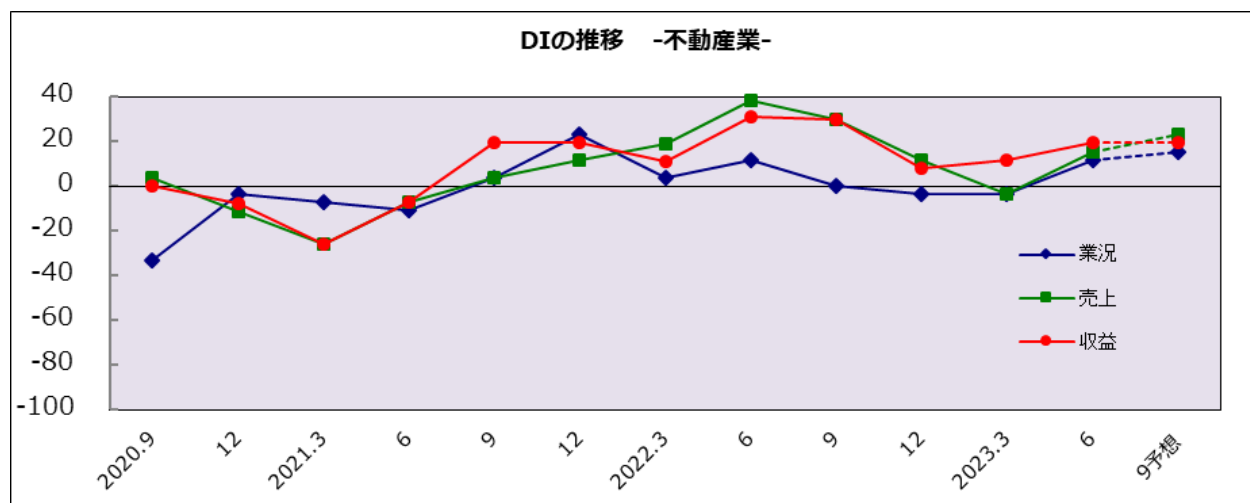
建売・土地売買、不動産代理・仲介など3業種で改善、貸事務所・土地賃貸で横這いとなった。

4業種中…業況改善 3業種 / 業況横這 1業種 / 業況悪化 0業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期
建売・土地売買 (13社)		17 (↓)	8 (↓)	0 (↓)	-17 (→)	8 (↑)	23 (↑)
不動産代理・仲介 (8社)		11 (↑)	-11 (↓)	-11 (→)	11 (→)	13 (↑)	0 (↓)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (1社)		0 (↓)	0 (→)	100 (↑)	0 (→)	100 (↑)	100 (→)
その他 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・今春は、購入希望の問い合わせ件数が前年に比べて減少した。一方で、業者等からのあっせんは増加した。(建売・土地売買)
- ・材料不足による電気工事の遅れは解消しつつある。(建売・土地売買)
- ・在庫の売却状況が良好であるため、今後は仕入れを強化する方針。(不動産代理・仲介)



~MEMO~